

令和7年度指定管理者モニタリング評価調査

1 施設状況・事業収支											
施設名称		長泉町健康公園									
所管課：部門名		課名（所属名）			チーム・グループ名			担当			
住民福祉部門		健康増進課			健康企画チーム			鈴木 昇二			
指定管理者名					代表者						
ミズノグループ					根津 政幸						
指定期間				(年)		料金制度適用					
令和5年4月1日から令和10年3月31日まで				5年		利用料金制度					
法令根拠等		長泉町健康公園の設置及び管理に関する条例及び規則 長泉町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例及び施行規則									
施設設置目的		町民に憩いと交流の場を提供し、健康づくりの推進を図るために設置された施設。									
施設概要		アリーナ、サブスペース、運動スタジオ、多目的室、マシンルーム、調理室、温水プール、ミニ運動場、中央グラウンド、屋内ウォーキングコース、屋外ウォーキングコース、ニコニコ広場									
施設の主な実施事業		施設利用サービス事業、健康増進支援事業、イベント推進事業									
施設利用状況	利用区分等		予定（計画・目標）		利用実績		対前年比		目標達成率		評価
	アリーナ		45,500 人		44,614 人		97.7 %		98.1% %		
	サブスペース		1,400 人		2,052 人		73.0 %		146.6% %		
	運動スタジオ		20,100 人		21,857 人		101.1 %		108.7% %		
	多目的室		16,500 人		19,056 人		104.0 %		115.5% %		
	中央グラウンド		26,500 人		26,063 人		98.6 %		98.4% %		
	ミニ運動場		10,500 人		11,645 人		99.9 %		110.9% %		
	マシンルーム		35,600 人		42,100 人		106.6 %		118.3% %		
	温水プール		52,100 人		57,921 人		107.2 %		111.2% %		
	調理室		1,800 人		1,789 人		97.7 %		99.4% %		
(特記事項)	計		210,000 人		227,097 人		102.4 %		108.1% %		
事業収支 (単位:千円)	収入	予算額		実績額		評価					
		項目 金額		項目 金額							
		①指定管理料 142,560		①指定管理料 142,560							
		②利用料金収入 26,400		②利用料金収入 24,604							
		③自主事業収入 28,000		③自主事業収入 37,979							
		④その他収入 7,800		④その他収入 3,219							
	支出	計 204,760		計 208,362		3					
		①人件費(社員) 52,300		①人件費(社員) 49,058							
		(アルバイト) 27,300		(アルバイト) 45,286							
		(その他) 100		(その他) 0							
		②管理費 旅費交通費 700		②管理費 旅費交通費 193							
		広告宣伝費 2,200		広告宣伝費 774							
		消耗品費 2,400		消耗品費 1,040							
		事務消耗品 600		事務消耗品 1,000							
		通信運搬費 1,500		通信運搬費 1,101							
		備品購入費 1,100		備品購入費 129							
		手数料 400		手数料 1,330							
		装飾看板 0		装飾看板 0							
		③租税公課 10,040		③租税公課 9,525							
		④維持管理費 センター 26,700		④維持管理費 センター 25,221							
		維持管理費 健康公園 4,000		維持管理費 健康公園 7,545							
		⑤光熱水費 31,400		⑤光熱水費 39,928							
		⑥賃借料 3,400		⑥賃借料 1,075							
		⑦自主事業費 9,600		⑦自主事業費 12,071							
		⑧リース費 1,700		⑧リース費 2,110							
		⑨保険料 400		⑨保険料 608							
		⑩修繕費 5,000		⑩修繕費 4,064							
		⑪本部管理費 23,920		⑪本部管理費 23,859							
	計 204,760		計 225,917								
収支	計 0		計 -17,555								
職員配置	協定時の配置予定			配置実績			評価				
	・総括責任者か副総括責任者どちらか常時1名 ・プール：監視責任者か監視副責任者どちらか常時1名、監視員常時2名 ・マシンルーム：健康運動指導士常時1名			・総括責任者か副総括責任者どちらか常時1名配置しました。 ・プール：監視責任者か監視副責任者どちらか常時1名、監視員常時2名配置しました。 ・マシンルーム：健康運動指導士常時1名配置しました。			3				
	施設管理運営に必要な人員が適切に配置されていたか			アルバイトスタッフ等を含めると職員配置予定を大きく上回っている。また有資格者を配置することで、体制を強化していたものの、常時配備されていたのは配置予定どおりの人数である。							

2 事業の実施状況				
区分		目標（協定内容・指定管理者提案）	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
町指定事業	受付業務		①ミズノスポーツ教室 ・38教室実施、参加者21,509名 ②イベント実施内容 ・ブールアクアイイベント 4月・11月・12月・3月計16日間実施 参加者421名 ・足型測定会 7月・2月計6日間実施 参加者53名 ・体力測定会 6月21日実施 参加者82名 ・ミズノスポーツフェスティバル 6月21日実施 参加者343名 ・カラダ三大測定 12月5日・7日実施 参加者31名 ・ミズノピクトリークリニック 2月1日実施 参加者41名 (講師:ディーン元気選手/和田麻希さん) ・シセイカルテ 2月20日実施 参加者20名 ・ミズノフットサル大会 3月1日実施 参加者37名	3
	プール業務			
	マシンルーム業務			
	グラウンド・駐車場業務			
	保守管理業務			
	設備機器管理業務			
	環境衛生管理業務			
	保安警備・備品管理・修繕業務			
自主事業	事業報告			
	運動教室開催			
	(水泳、卓球、バドミントン、チアリーディング			
	子供体操、バスケットボール、ダンス等)			
	自動販売機管理運営			
	ミズノ商品販売			
3 指定管理者業務の実施状況の確認（管理運営全般）				
確認項目		実施状況	評価	
利用者の公平性の確保		施設使用の許可・減免等は規定通り行いました。子供から高齢者まで、健常者も障がいのある方も気兼ねなく施設を利用できるよう、CS向上リーダーによる接客スキル向上研修を実施し接客スキル向上に努めました。団体に属さない個人の方も団体スポーツに参加したいとのニーズに対し参加費¥500の個人参加型の、フットサル、バスケットボール、バドミントンを継続開催し、個人でも団体スポーツに参加し施設利用できる環境づくりを進め利用者の利便性の向上と利用の幅を広げました。	3	
4 指定管理者業務の実施状況の確認（個別業務）				
区分		実施内容	評価	
施設の維持管理	協定・仕様等の確認	①施設及び施設設備の維持管理 (建築物・建築設備、環境衛生、保安警備、植栽、什器備品、公衆電話等) ②施設設備の運転監視、日常点検、定期点検、整備・修繕	3	
	実施計画検証	①点検や法定の点検が実施されており、不具合箇所への対応が実施されていた。併せて、修繕計画策定調査シートにより年間実施計画で修繕箇所等の計画的な修繕が行われていた。 アリーナ天井雨漏り箇所については引き続き原因究明に向け観察、注視し、町との情報共有がされていた。 ②空調設備において、運転モードをオートからマニュアルに切替えたことで、シーズンや利用者要望にタイムリーに対応できるようになり、光熱水費の削減や利用者の満足度の向上にもつながっている。		
サービスの維持向上	協定・仕様等の確認	①利用サービス事業、健康増進支援事業(教室、講習会、大会等)、長泉町・町スポーツ協会主催事業への協力 ②継続的来館の為の、利用者目線でのサービス提供 (利用時間延長サービス、プログラム用機器新規導入、インターネット、SNSを活用した情報の提供等)	3	
	実施計画検証	①令和7年度で2回目となる「ながいずみカラダフェスタ」の開催に協力し、ミズノならではの健康づくりメニューや子供向けメニューなどのノウハウとマンパワーを提供し、事業の実施に貢献した。 ②トレーニング時のプロテイン摂取による栄養補給は、健康増進に非常に有効であるため、森永製菓と連携しプロテインサーバーを設置し利用者目線による利便性向上が図られた。 プールではアクアフェスティバルを開催し、タイムアタックやアクアチューブ、着衣泳体験など、普段プールを利用しない方にも参加できるプログラムを実施した。		
危険管理対策	協定・仕様等の確認	①緊急時連絡体制の整備と緊急事態発生時の速やかな措置・対応、関係者への通報 ②災害発生時の住民安全確保の為に公園閉館対応と、委任者管理体制時の応援・協力 ③業務上の秘密事項・行政の未公開情報の管理、個人情報保護条例の規定に沿った情報の保護・管理 ④利用者若しくは近隣住民からの苦情、または利用者間のトラブル対応 ⑤リスクマネジメント(金銭管理、運営管理、人員管理、収支管理)による事故防止 ⑥施設賠償責任保険、スポーツ災害補償保険の付保 ⑦健康増進課執務エリアを含む全施設・工作物の保安警備 ⑧その他	3	
	実施計画検証	①②休館日を活用して危機管理教育や訓練を実施し、日々の発生に対応できる準備をしていた。特にプールに関しては毎日営業前にAED操作訓練と心肺蘇生のトレーニングを継続して実施していた。 ③紙ベースの個人情報は決められた鍵のかかる場所に保管、データでの個人情報は会社指定の社内ネットワーク内データベースに保管し、情報漏洩が無いようマニュアルに基づき運用されていた。 ④苦情やトラブルに関しては、町に即座に口頭で報告されており、完了後には書面での提出がなされていた。 ※履歴を残すことによって再発の未然防止に努めるよう対策が図られていた。 ⑤金銭は、各種証票と預金残高を常に複数の人員で確認し、差異の発生や事故の発生が無いよう管理されていた。 毎月、収支集計の分析が行われ、運営の効率化対策が実施されていた。 ※人員シフト調整、光熱水費の削減等 ⑥事故やケガが発生した際には、子会社の保険会社と連携して迅速な対応が図られていた。 ⑦法定点検計画、自主点検計画により実施され、必要となった修繕は実施され、問題は発生していない。 ⑧各種警報（大雨・暴風等）の発令時など、健康公園内の飛散しやすいものなど予め予防策を施すとともに、悪天候が収まり次第速やかに復旧や、被災箇所の有無の確認や報告等、災害への対応が迅速に図られている。		
その他	協定・仕様等の確認	①自動販売機の管理運営 ②備品棚卸の実施と報告 ③施設利用者に対する管理指導と、施設備品・借用備品の管理全般 ④毎月及び四半期ごとに業務報告を作成し、指定された期日までに提出	3	
	実施計画検証	①自動販売機の、猛暑による品切れにもスピーディーに対応し、ゴミ箱の処理も適切に行われていた。 ②故障等のトラブルなく利用者対応が出来ていた ③備品チェックを毎年実施し、町への報告もなされていた。 施設貸出時に備品利用方法も適切に案内されておりトラブルは発生していない。 基本的に備品準備は利用者対応だが、危険性がある備品の取り扱いは職員が対応をしていた。 ④定められた期日までに提出されていた。		

令和7年度指定管理者モニタリング評価調査

5 利用者評価					
区分		内容		評価	
利用者評価	利用者アンケート	実施有	(1) アンケート調査 アンケートを下記内容にて実施しました。 期間:令和8年2月9～2月28日、回答者数:198人 アンケート手法:N P S 分析 (N P S 分析は他者に勧めるという行動を点数化したもので10段階で0～6迄の評価者を批判者とし、7以上を推奨者とした場合、推奨者比率－批判者比率＝N P S 指数 (比率の差) という考え方です) N P S 指標は令和4年度12.3%、令和5年度9.2%、令和6年度は27.8%に対し令和7年度は45%と増加しました。2024年度からアンケート方法はウェブのみに変更した為2024年度は60代以上の回答率が低くなりましたが、2025年度は60代以上の回答率が上昇し全体の回答者数も2024年度の54人から198人と大きく増加しました。		
		未実施			
	利用者からの評価・要望・苦情	(1) 良好とする評価 電話対応では「こちらから聞いた事以上の説明があった」「感じの良い接客」などのお声、評価をいただきました			3
		(2) 苦情・改善等の要望事項			
		施設名	主な要望	(対応)	
		屋内施設	エアコンの設定温度を調整できるよう柔軟に対応してほしい	熱中症予防の為に、各部屋に扇風機を設置し、自由にご利用いただけるようにしました	
			プロテインのコップを捨てるのに看板が邪魔で捨てにくい	設置場所を移動し、導線を確保しました	
			トイレの汚れが気になる、配線にもホコリが溜まっている	付着していたホコリを取り除き清掃しました	
		マシンルーム	機械の故障が多く修理に時間がかかっている	迅速に業者から修繕見積りをとり、修繕しました	
		プール	ロッカーキーの番号が薄くなっている	サインペンで書き直し補修しました	
屋外施設	ランニングコースにて集団で危険走行をしている	集団走行及び営利目的等による教室開催の禁止の張り紙を表示しました			

6 担当課評価				
総合評価	評価区分	評価	総合評価	評価理由
	施設利用状況	3	C	【1 施設状況・事業収支】 (1) 施設の利用状況 施設全体の利用率は、前年度比で102.4%（R6モニタリング評価時は前年度比106.1%）、目標値で108.1%と、ともに堅調であった。令和5年5月の新型コロナウイルスの感染症法5類引き下げ以降、利用数が回復し、令和7年度は更に利用数を伸ばした。 指定管理者の自主事業として展開する各種スポーツ教室は、原則として稼働率の低い施設・時間帯に実施されており、利用数の向上に寄与したと考えられる。 (2) 事業収支 収入は、根幹となる「利用料金収入」と「自主事業収入（各種スポーツ教室）」が、コロナ禍からの回復基調を維持しており、令和6年度よりも収入増となった。 支出では、全体支出に対して光熱費が占める割合が依然として高い状況が続く中、コスト意識を強く持ちながら、電気料金を抑えることができた。一方で、最低賃金の引き上げや人手不足による人材確保競争等を要因とした人件費の増加に歯止めがかから、光熱費の減少以上の支出となった。 収支は▲17,555千円とマイナス収支であるが、前年度の▲22,557千円に対し約5,000千円の減少が図られた。人件費の上昇や物価高騰の影響を受けたことから経営状況は厳しいものの、社会的な外部要因によるものと考えられる。 【2 事業の実施状況】 町指定事業として施設管理においては問題なく対応されており、新規事業はなかったものの、従来事業の工夫により参加者が増加するなど積極的に実施されていた。通常の各種スポーツ教室に加え、温水プールイベント、ミズノスポーツフェスティバル、カラダ三大測定、ビクトリークリニック、フットサル大会など多彩な内容を実施し、多様な対象者にスポーツ機会を提供できていた。 また、物販は季節性を考慮し購買者ニーズに沿った物品を取り揃え、利用者満足度向上が図られていた。 【3 指定管理者の実施状況確認（管理運営全般）】 公平性は確保されつつ、町民優先の対応が図られていた。また、団体に属さないスポーツ利用の個人化にも対応すべく、個人参加型の各種スポーツ教室も展開し、あらゆる対象者層に利用される施設としての促進にも取り組んでいた。 【4 指定管理業務の実施状況の確認（個別業務）】 各種設備の法定点検は適正に行われており、月例での報告や、点検結果に基づく修繕も迅速に対応が図られている。 サービスの維持向上に向け、気軽に施設利用に繋げるための「無料レッスン」や「ワンコインレッスン」も前年度に引き続き開催し、施設利用を促進した。 【利用者評価】 利用者アンケートにより、NPS分析手法（推奨者・施設利用を勧めたい）割合を定期的に把握している。同指標ではR6の27.8%からR7は45%と大きく上昇し、満足度が上がっている。回答者も前年度の54人から198人と増え、維持管理に関して良好な意見が多くなっている。さらに大きな苦情もなく、要望に対しても迅速に対応しており、概ね良好な評価といえる。
	事業収支	3		
	職員配置	3		
	事業実施	3		
	管理運営全般	3		
	施設の維持管理	3		
	サービス向上	3		
	危機管理対策	3		
	その他	3		
利用者評価	3			
取り組みに対する指示事項及び改善案等	・施設の貸し出しに際して、施設に悪影響を及ぼさず、空き時間を有効活用できるのであれば、種目に拘らず貸し出せるよう引き続き対応いただきたい。自主事業も同様。（昨年度継続事項） ・ながいずみカラダフェスタについては、引き続き大手民間事業者としての知識やノウハウを活かし、町並びにスポーツ協会が開催する健康づくり事業により積極的に参画し、協力いただきたい。 ・公園内植栽の内製への取り組みは今後もコスト削減に繋がっていくよう、可能な限り実施していただきたい。 ・プロテインサーバーの設置にあるように、常に利用者のニーズ把握を心がけ、引き続き利便性向上に努めていただきたい。 ・今期の指定管理提案書や「次年度以降の取組み」について、なるべく早期に実現して事業効果を高められるよう、取組みを進めていただきたい。			

【指定管理者自己評価】	
指定管理者自己評価	
(1) これまでの取り組みに対する評価	
Ⅰ 利用増加への取り組み	
・利用者の満足度向上に向けて毎月の社員スタッフミーティングで対策を検討し、教室・イベントを新規およびリニューアル開催しました ・プール 夏休み短期教室(7月～8月) 水中ウォーキング・アクアピクス(4月・11月・12月・3月) めざせ! 15000メートル(12月) アクアフェスタ(10月) ・マシンルーム ハロウィン特別レッスン(10月) クリスマス特別レッスン(12月) 防災食を食べてみよう教室(9月) ・ミニ運動場 ミズノフットサル大会(3月)	
Ⅱ コスト削減に対する取り組み	
・町に契約電力会社を変更いただき電気料金が前年度に比べ大幅に減少しました。電力消費量の抑制に関しては、電気・空調の集中管理システムの自動からセルフ設定にする対応は継続実施し、ロスの少ない対応をいたしました。また利用者に事前確認し不要な時は冷暖房をOFFに設定しました ・従来は気温湿度保持の為に施設利用の無い夜間も空調を稼働していましたが、影響のない範囲で休止時間を設定しました ・空調の設定温度を環境省の推奨温度に近づけるように設定しました ・気温に応じた給湯温度を調整するようにして、ガス料金を前年度より削減しました ・利用者への情報提供やイベント告知等は、インスタグラム等SNSを活用するよう努力いたしました ・リモートコミュニケーションツールを活用して出張・外出等を抑制し、旅費交通費を前年度より削減しました	
Ⅲ その他	
・年間研修計画に沿った訓練、研修、講習を実施し、スタッフスキルの向上と接客品質向上に努めました マナー教育研修(4月)、接客接客研修(4月)、一次救命教育研修(4月)、プール施設等安全管理講習(6月)、救急救命講習(6月)、熱中症研修(6月)、心肺蘇生法研修(6月)、消防避難訓練(11月・2月) プロテイン勉強会(12月) ・町最大の健康イベントであるながいずみカラダフェスタにおいてスポーツや健康づくりに興味をもってもらメニューを提供し協力しました ・スポーツに親しみを持ってもらうようにロビーにてミラノ・コルティナ冬季2025オリンピック・パラリンピック大会のパブリックビューイングを設置しました ・町の地域活動への積極的な関わりとして長泉わくわく祭りにウェルビアながいずみチームとして教室スクール生・講師・社員スタッフが参加しました ・利用者増加の為の新規教室開催に向けたスタッフのスキルアップを目的として、ニュースポーツ指導の社内講習を受講しました ・ビックルボール研修2名(2月13日) ・プロテインサーバーを設置し、利用者の利便性向上に努めました(9月～) ・トレーニングマシンのメンテナンス講習会を開催し、故障時に出来るだけタイムリーな対応が出来るよう実施しました ・公園内の植栽の維持管理を出来るだけ内製で実施し、こまめな対応が出来るよう進めました 内製で十分な対応が難しい芝に関しては、外部業者と契約し常緑となるよう維持管理に努めました ・土日祝で利用者が多く、尚且つ大会開催される日の駐車場割り振りを実施し混乱を避けるよう調整して参りました	
(2) 指定管理者業務実施上の課題	
・経年劣化の影響による修繕とそれによる施設利用の一時的、または長期の利用停止 ・稼働率の低い時間帯、場所に対する利用促進策の検討と実施 ・施設利用をしていない町民に対するスポーツへの取り組みのきっかけづくりの提案 ・利用規則に基づいた、公平性のある施設運営 ・利用者ファーストを尊重した接客技術の向上と、その為の教育訓練の実施 ・個人でも施設利用がしやすくなるような環境の整備(教室、個人参加型メニュー、実施時間、実施場所等) ・周辺施設との連携による付加価値の向上への取り組み	
(3) 次年度以降の取り組み	
・「ビクトリークリニックの開催」 スポーツにより親しみをもってもらい、競技力の向上につながるオリンピック等有名アスリートを活用したビクトリークリニックを開催します ・「ながいずみカラダフェスタへの貢献」 ながいずみからだフェスタにおいて、スポーツや健康づくりに関するより魅力的なメニューを提供します ・「教室・イベント内容のブラッシュアップ」 自主事業として実施している各種教室の内容を継続的に検証し、グループが運営している他施設の成功事例の共有と人的な連携により、利用者にとってより満足度の高い教室・イベントを提供します ・「マイロッカーの設置」 運動用の小物や会社帰りの利用者の靴等をマイロッカーで保管することで、手軽に屋内・屋外施設を利用しやすくとともに、利用頻度の高い利用者の利便性を向上させます ・「部活動支援活動の実施」 水泳や陸上を中心に中学生向けの教室を充実させ部活動の支援を行います ・「熱中症対策の実施」 毎年の気温上昇による熱中症リスクに対し、利用者により分かりやすい対策の掲示をし注意喚起をするようにいたします ・「クーリングシェルターとしての対応」 施設利用者以外にも滞在しやすく、シェルターとしてより使いやすい環境整備に努めます	